



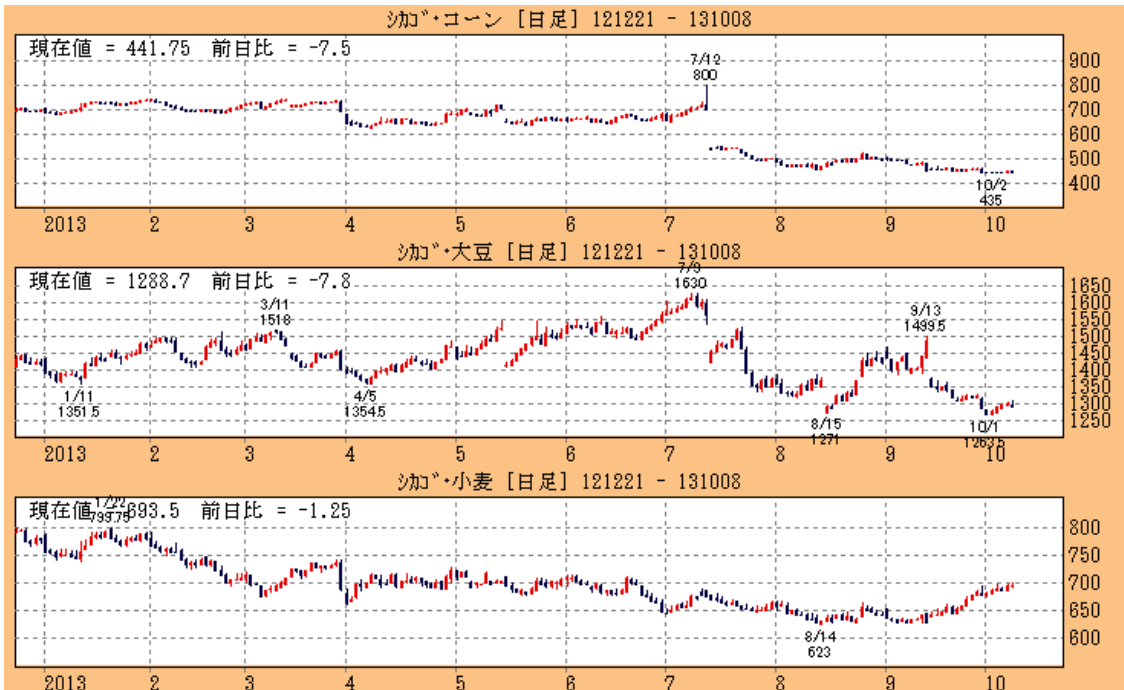
# 週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。  
毎週水曜日夕方発行

穀物価格はそろって下落

発行日 : 2013/10/9



10月8日のシカゴコーン12月限は7.50セント安の441.75セント。上伸に対する利益確定売りに押されて反落、米国産トウモロコシの豊作が見込まれる中、収穫の進展に伴う季節的な売り圧力も相場を押し下げた。12月限は朝方、上昇する場面があったものの、その後はマイナス圏に転じた。米コーンベルトでは今後数日間、雨が降らないもようだが、今週後半から来週にかけての降雨によってトウモロコシと大豆の収穫ペースが鈍化する可能性があると考えられている。

10月8日のシカゴ大豆11月限は7.75セント安の1288.75セント。利益確定売りが出たほか、収穫期の売り圧力によって反落。イールド（エーカー当たりの収量）が予想を上回るとの観測も売り材料となった。11月限はいったんは上昇したものの、その後はマイナス圏に転じ、50日移動平均線を下回った。米中西部では今後数日間、雨が降らないもようだが、今週後半から来週にかけての降雨によって大豆とトウモロコシの収穫ペースが鈍化する可能性があると考えられている。

10月8日のシカゴ小麦12月限は1.25セント安の693.50セント。テクニカルな売りなどが反落。同限月は700セント近辺の上値抵抗線が重く、売り圧力によって反落。黒海沿岸地域の小麦生産国の作付面積に関して、天候要因で減少するとの懸念が下支え要因となっている。

## TOPICS 世界の大豆生産は2億8100万トンと前年比5.2%増 需要は2億7700万トン by AMIS

農産物市場情報システム(AMIS)は、13/14年度の世界大豆生産を2億8100万トンと見通していることを示した。前月時点での2億8400万トンから引き下げ、アルゼンチンとインド、米国の下方修正によるという。それでも、前年比較では5.2%の増加になる。

13/14年度の世界消費予測を前年比3.4%増の2億7700万トンになると見通した。これは100万トンの下方修正である。一方、貿易は1億400万トンから1億500万トンに引き上げた。前年から7.1%増加の見方になる。期末在庫は12/13年度の推定を2500万トンから2600万トンに上方修正し、反面、13/14年度は3100万トンから2900万トンに引き上げた。下方修正はアルゼンチンと米国を反映しているという。AMISは、市場の透明性を高めることなどを目的に主要20カ国・地域(G20)が設立した。



TOPIC s Crop Progressは政府閉鎖でお休み

TOPIC s 穀物カレンダー by AMIS

		トウモロコシの生産																	
		次年度												初年度					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
アルゼンチン						収穫						作付					収穫		
オーストラリア						収穫					作付						収穫		
ブラジル	1期作				収穫						作付						収穫		
	2期作		作付					収穫							作付			収穫	
カナダ						作付					収穫							作付	
中国	北部					作付				収穫								作付	
	南部			作付				収穫								作付			
エジプト						作付					収穫							作付	
EU27ヶ国					作付						収穫					作付			
インド	Kharif							作付		収穫							収穫		
	Rabi				収穫						作付							収穫	
インドネシア	乾燥地帯					作付			収穫								収穫		
	湿地帯			収穫							作付					収穫		作付	
日本																			
メキシコ	秋冬		作付			収穫						作付						収穫	
	春夏		収穫				作付					収穫						作付	
ナイジェリア	北部					作付			収穫								作付		
	南部			作付					収穫							作付			
フィリピン	1期作		作付		収穫		作付		収穫				作付		収穫			作付	
	2期作		収穫							作付				収穫					
ロシア					作付						収穫							作付	
サウジアラビア				作付					収穫							作付			
南アフリカ						収穫					作付							収穫	
タイ		収穫				作付					収穫							作付	
トルコ					作付					収穫								作付	
ウクライナ					作付					収穫								作付	
米国					作付					収穫								作付	
ベトナム	冬春				収穫						作付						収穫		
	夏秋					作付				収穫								作付	

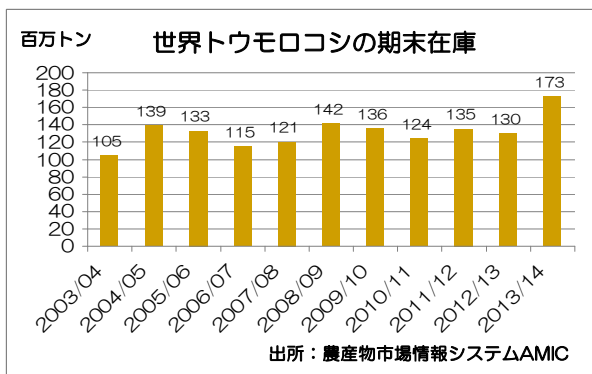
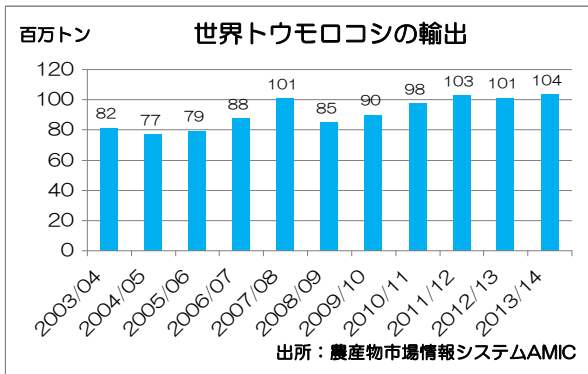
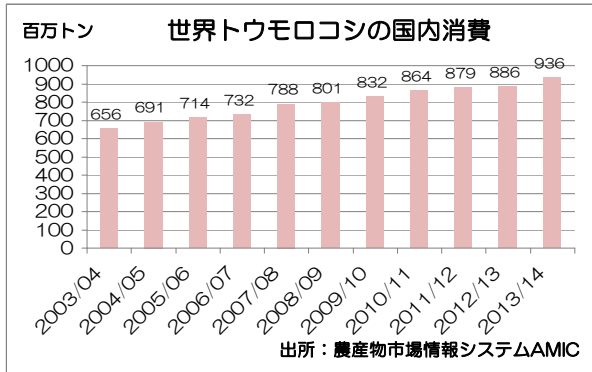
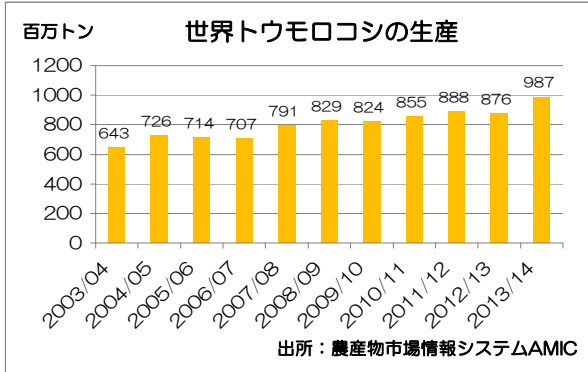
		大豆の生産																	
		次年度												初年度					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
アルゼンチン		作付				収穫						作付						収穫	
オーストラリア					収穫							作付					収穫		
ブラジル					収穫							作付					収穫		
カナダ						作付					収穫							作付	
中国						作付					収穫							作付	
エジプト																			
EU27ヶ国					作付						収穫						作付		
インド							作付				収穫							作付	
インドネシア	乾燥地帯					作付				収穫								作付	
	湿地帯		収穫									作付						作付	
日本							作付					収穫						作付	
カザフスタン					作付						収穫						作付		
メキシコ		収穫					作付					収穫						作付	
ナイジェリア							作付				収穫							作付	
フィリピン				作付				収穫								作付			
韓国							作付				収穫							作付	
ロシア					作付						収穫						作付		
南アフリカ			収穫									作付			収穫				
タイ	1期作						作付				収穫							作付	
	2期作	作付			収穫							作付				収穫			
トルコ						作付					収穫							作付	
ウクライナ					作付					収穫							作付		
米国						作付					収穫							作付	
ベトナム	冬春				収穫						作付						収穫		
	夏秋					作付					収穫						作付		



		小麦の生産																	
		次年度												初年度					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
アルゼンチン		収穫				作付						収穫						作付	
オーストラリア		収穫			作付						収穫							作付	
ブラジル					作付					収穫								作付	
カナダ	春小麦				作付					収穫								作付	
	冬小麦							収穫		作付									
中国	春小麦				作付				収穫							作付			
	冬小麦							収穫		作付								収穫	
エジプト					収穫				作付									収穫	
EU27ヶ国	春小麦				作付				収穫							作付			
	冬小麦							収穫		作付									
インド		作付			収穫						作付					収穫			
日本						収穫				作付								収穫	
カザフスタン					作付				収穫									作付	
メキシコ					作付				収穫				作付					収穫	
ロシア	春小麦				作付				収穫									作付	
	冬小麦							収穫		作付									
サウジアラビア					収穫					作付								収穫	
南アフリカ					作付					収穫								作付	
トルコ	冬小麦							収穫		作付									
ウクライナ	春小麦				作付				収穫						作付				
	冬小麦							収穫		作付									
米国	春小麦				作付				収穫										
	冬小麦							収穫		作付									

### TOPICs 世界のトウモロコシの需給 by AMIC

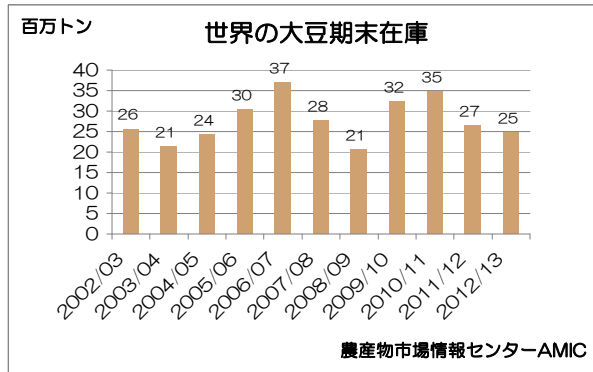
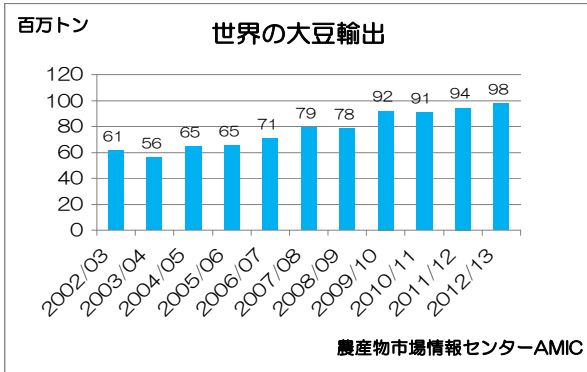
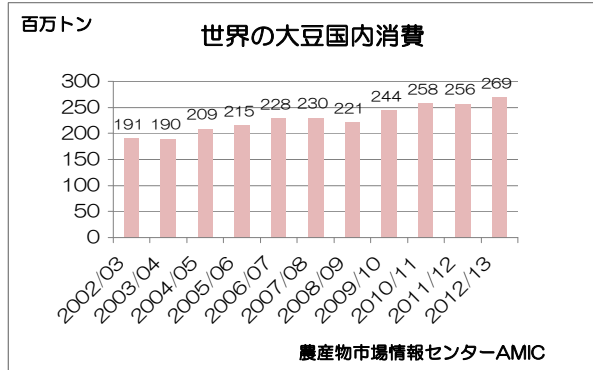
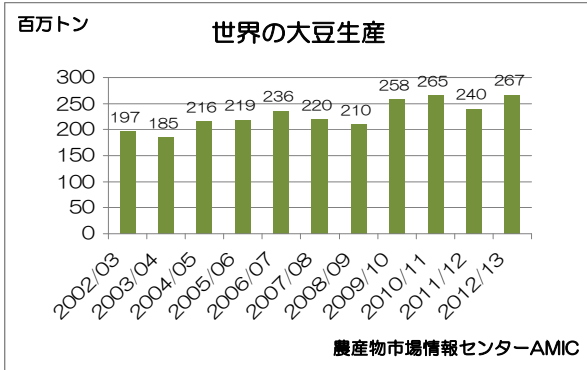
百万トン	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14	前年比
生産	714	707	791	829	824	855	888	876	987	+111
供給	854	840	906	950	966	991	1012	1010	1117	+107
国内消費	714	732	788	801	832	864	879	886	936	+50
輸出	79	88	101	85	90	98	103	101	104	+2
期末在庫	133	115	121	142	136	124	135	130	173	+43
期末在庫率	16.7%	14.0%	13.6%	16.0%	14.8%	12.9%	13.7%	13.2%	16.6%	





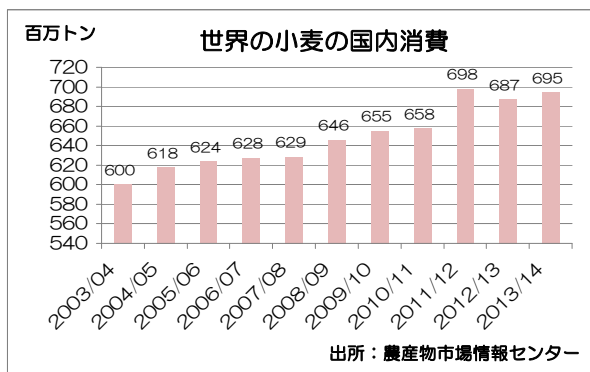
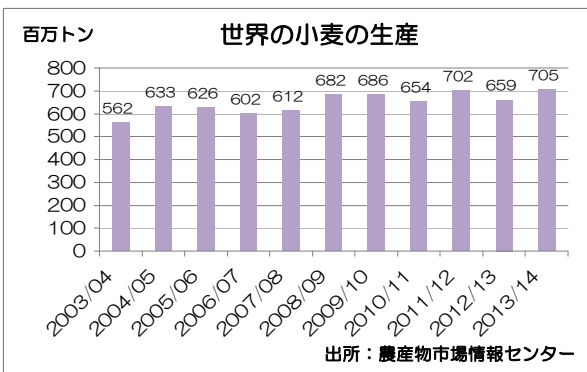
## TOPIC s 世界の大豆の需給 by AMIC

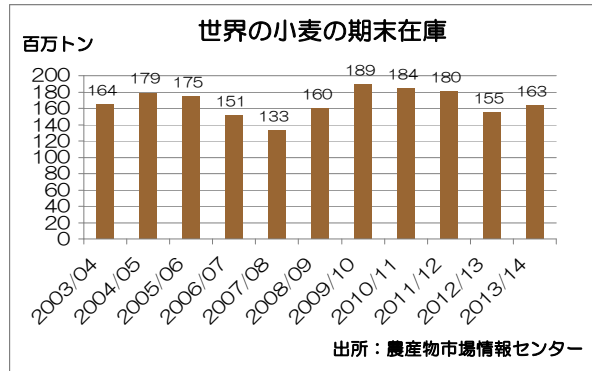
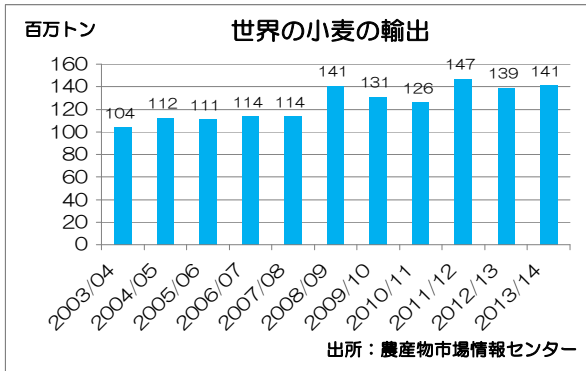
百万トン	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	前年比
生産	216	219	236	220	210	258	265	240	267	+27
供給	237	244	267	257	238	279	298	275	293	+19
国内消費	209	215	228	230	221	244	258	256	269	+13
輸出	65	65	71	79	78	92	91	94	98	+3
期末在庫	24	30	37	28	21	32	35	27	25	▲2
期末在庫率	8.9%	10.8%	12.4%	8.9%	6.9%	9.6%	9.9%	7.6%	6.7%	



## TOPIC s 世界の小麦の需給 by AMIC

百万トン	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	2009/10	2010/11	2011/12	2012/13	2013/14	前年比
生産	626	602	612	682	686	654	702	659	705	+45
供給	805	776	763	815	846	842	886	840	860	+20
国内消費	624	628	629	646	655	658	698	687	695	+8
輸出	111	114	114	141	131	126	147	139	141	+2
期末在庫	175	151	133	160	189	184	180	155	163	+8
期末在庫率	23.8%	20.4%	17.9%	20.3%	24.0%	23.5%	21.3%	18.8%	19.5%	





## 今後の予想

米国農務省が政府閉鎖の影響を受けて、データやレポートの発行がないことにより、情報に限りがあるが、今回は農産物市場情報センターの需給を中心にレポートをした。最初に書いたのは各国のトウモロコシと大豆、小麦の生産カレンダーであるが、これを見るといつも地球のどこかで作物の作付をしていたり、収穫をしていることがわかる。空いた隙間はないほど、世界のどこかで穀物が生産されている。中には6~7ヶ月にわたって収穫時期があるものもあるが、国といっても地域や気候が異なるのであろう。

同センターによるトウモロコシの生産量は、13/14年度は前年より1億トン程増えており、消費の5千万トン増の倍増加することになっている。このため、期末在庫は、1億3千万トンから1億7千万トンに4千万トン増加する。今年の世界のトウモロコシの需給は問題ないようである。

大豆は13/14年度が未だ出ていないのでわからないが、期末在庫率でみるとトウモロコシや小麦が16%~19%あるのに対し、大豆は6.7%であり、米国同様世界的にも大豆の在庫は少ないままである。このあたりから、大豆価格は下支えされる可能性がある。ただ、直近はハーベストプレッシャーの中、特に目立った情報もないので大きな動きはないものと思われる。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス  
 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310  
 会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692  
 メールアドレス：kondo@commi.cc